



ユニバーサルデザイン かんが かつ という考え方は くに う どこの国で生まれた？

①アメリカ②にほん日本③タイ

こた めん
答えはうら面で！



こたえ
答：①アメリカです。1980年代に、アメリカの大学の先生
が始めた考え方です。日本では、1990年代に広まりました。

調べてみよう！

『発達と障害を考える本 12 発達って、障害ってなんだろ
う？』(日原信彦/監修 ミネルヴァ書房 2008.4. J378/71N/12)

発達って、どういうこと？ 障がいがあると、どんな不都合なことが
あるのでしょうか。さまざまな例が、イラストやまんがで紹介されて
いて、みんなが共に生きる社会について考えていきます。(高学年～)

『ユニバーサルデザインとバリアフリーの図鑑』(徳田克己/監修
ポプラ社 2013.4 J369/221N)

身近な文房具や生活用具から最先端のロボットまで、誰もが使いやすい
道具や設備が豊富に紹介されています。実際に道具を使っている方
の話も載っています。(高学年～)

『ユニバーサルデザイン-みんなの暮らしを便利に-[第1期]2
暮らしの中のユニバーサルデザイン』(星野恭子/文 あかね書房
2006.4 J369/161N/2)

ユニバーサルデザインについて、家電などの製品と、インターネット
などの情報の2つの面から考えています。製品を作った人が、開発の
きっかけや思いを語る「開発ものがたり」もあります。(高学年～)

見てみよう！

「共用品推進機構」<http://www.kyoyohin.org/ja/index.php>
誰もが利用しやすい製品・施設・サービスが紹介されています。